

い。

5. 委託研究について

中部電力からの委託研究、「東アジアの気候システムと日本の気候変動」(代表世話人は筑波大の安成会員)の窓口を学会が受け持つことについて承認。

6. 日本複写権センターの加盟について

気象研究ノートの著作権表示について見通しがついたため、懸案となっていた日本複写権センターとの間で複写に係わる権利委託契約を結ぶことを承認。米国の複写権センターへも同時に登録する。

7. 評議員会の日程と議題等について

2月3日を第1候補とし、1月28日を第2候補とする。議題や会議資料は担当理事と相談のうえ、事務局で用意する。

8. 第28期役員選挙について

11月19日に第1回の選挙管理委員会が開かれた。1月31日を立候補届け出の締め切り、3月4日を投票期日とすることが決められた。候補者の名簿記載順序は、今回から選挙管理委員会が抽選により決定することとなった。

9. 1994年度事業計画および予算案について

1月に郵便料金の値上げが予定されており、年間180万円程度の負担増が見込まれる。これは会費値上げによる増収分の3分の1にあたる。再来年度に向け、大会参加費の値上げなどを検討する必要が出てこよう。

10. その他

学会事務局のパソコンのバックアップ機として、もう一台マックを購入したいとの提案が会計担当からあり、承認。価格約60万円。

編集後記：皆様にとって気象学会とは何でしょうか？学会=大会の人、学会=「天気」の人、学会=集誌の人等々。「天気」の編集作業を通じて学会が非常に多くの会員の様々なかかわり方によって支えられていることを知ることができました。

もう一つ感じるのは、気象学会のスムーズな運営は、気象庁の組織力に負うところが大きいのではないかといい点です。これを離れようとすれば大きな困難が伴うであろうことは容易に想像されます。しかし、近年

の社会ニーズにも伴い学会員の活躍する分野が一段と幅広くなりつつある今、学会は「個人」の集合であるという原則を少し見直しても良い時期に来ているのではないかという気がします。

私ごとですが、1月から1年間 NASA/GSFC に来ています。D. C. 郊外のカンと冷たい冬の空気を味わっています。この機会にアメリカ気象学会の様子など何かい間見てくることができればと思っております。

(高藪(中込) 縁)